

- 問1 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 | 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 3. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 | 4. 農業従事者一人あたりの農薬使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 北海道の自然環境と地形について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 道東部には、季節風の影響で形成された砂丘が広がり、大規模な施設園芸農業が行われている | 2. 全域において、夏の季節風の影響を強く受けるため、年間を通じて高温多湿な気候となっている | 3. 道西部には、サンゴ礁が隆起して形成された水はけの良い石灰岩の台地が広がっている | 4. 道北部には、火山灰などが長い年月をかけて降り積もったローム層が堆積する台地が見られる |
|---|--|--|---|
- 問3 北海道では、生産された生乳の多くが飲用ではなくバターやチーズといった乳製品の原料（加工用）として利用されています。このように、北海道で加工用としての割合が高い理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。 | 2. 北海道の気候は寒冷であり、冬場の生乳生産量が極端に減少するため、年間を通じて供給できる加工品に頼らざるを得ないから。 | 3. 大規模な牧草地で飼育される牛乳から取れる生乳は、小規模農場のものに比べて水分量が多く、飲用には適さない性質を持っているから。 | 4. 政府の農業政策により、北海道産の生乳はすべて工業製品の原料として扱うことが法律で義務付けられているから。 |
|--|---|---|---|
- 問4 日本の生乳処理量を調査した統計において、バターやチーズの原料となる「加工用生乳」の処理量は北海道が全体の約89.3%と圧倒的であるのに対し、直接飲むための「飲用生乳」の処理量は関東や中京圏などでも高い数値を示しています。このような違いが生じる背景について正しく述べたものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 大都市周辺では牛の飼料となる牧草を自給する広大な牧場を確保しやすいため、鮮度が求められる飲用牛乳の生産を独占している。 | 2. 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。 | 3. 飲用牛乳は加工品よりも市場価格が低いため、輸送コストを抑える目的で、すべての都道府県において消費量に見合った自給自足が行われている。 | 4. 加工用生乳は飲用生乳に比べて腐敗しやすいため、消費地から遠く離れた北海道のような冷涼な地域で集中的に加工する必要がある。 |
|--|--|---|---|
- 問5 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。 | 2. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。 | 3. 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。 | 4. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。 |
|---|--|---|---|
- 問6 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。 | 2. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。 | 3. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。 | 4. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。 |
|--|--|---|---|
- 問7 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 2. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 | 3. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 | 4. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 |
|---|---|--|---|
- 問8 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------|-----------|-----------|
| 1. 東南アジア諸国連合 | 2. ユネスコ | 3. 世界貿易機関 | 4. 国連児童基金 |
|--------------|---------|-----------|-----------|
- 問9 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|----------|--------|
| 1. 白神山地 | 2. 知床 | 3. 小笠原諸島 | 4. 屋久島 |
|---------|-------|----------|--------|
- 問10 ニセコ町や倶知安町では、特定の時期に急増する外国人観光客の利便性を高めるため、駅から目的地までの移動手段である「二次交通」の整備などに官民が連携して取り組んでいます。持続可能な観光地づくりの先進事例として注目されているこの取り組みを何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|------------|
| 1. 地産地消運動 | 2. ニセコモデル | 3. コンパクトシティ | 4. エコツーリズム |
|-----------|-----------|-------------|------------|
- 問11 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------------|
| 1. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業 | 2. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業 | 3. 大型機械を活用した大規模な経営 | 4. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業 |
|----------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------------|
- 問12 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため | 2. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため | 3. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため | 4. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため |
|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問2	答え 4 道北部には、火山灰などが長い年月をかけて降り積もったローム層が堆積する台地が見られる	北海道の北部には、地質学的に古い火山灰などが堆積してできたローム層を含む台地が存在します。こうした台地や丘陵地帯は、北海道の広大な景観を形作る要因の一つとなっています。石灰岩の台地（カルスト地形）は山口県の秋吉台などが有名であり、サンゴ礁の隆起は南西諸島に見られる特徴です。また、北海道は冷帯（亜寒帯）に属し、梅雨の影響をほとんど受けない寒冷な気候が特徴です。
問3	答え 1 関東地方などの大消費地から離れているため、生乳のまま輸送するよりも、保存性を高めた製品に加工する方が効率的だから。	生乳は鮮度が落ちやすく、液体であるため輸送コストもかかります。北海道は人口の多い関東地方などの大消費地から距離があるため、生乳のまま運ぶよりも、工場でバターやチーズに加工して保存性を高め、体積を減らしてから輸送する方が、経済的合理性が高いという背景があります。一方、都市近郊の酪農地帯では、新鮮さが求められる飲用乳の供給が中心となります。
問4	答え 2 北海道は広大な土地を活かした大規模な酪農が行われているが、遠方の大消費地へ鮮度を保ったまま届ける必要がある飲用牛乳よりも、保存のきく乳製品への加工に重点を置いている。	生乳の利用形態と産地の関係は、消費地との距離と「鮮度」の関係で説明される。北海道は日本の生乳生産の大部分を担っているが、東京などの大消費地から距離があるため、輸送中に鮮度が落ちやすい飲用牛乳としての出荷には不利な側面がある。そのため、北海道では生乳をバターやチーズといった保存のきく乳製品に加工してから全国へ流通させている。これに対し、千葉県や神奈川県などの大都市近郊では、輸送距離の短さを活かし、鮮度が求められる飲用牛乳の供給に特化した酪農が行われている。
問5	答え 3 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流氷がもたらすプランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問6	答え 2 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。	札幌は高緯度に位置するため、一年を通して東京よりも気温が低く推移し、1月の平均気温は氷点下となります。また、日本海側の気候の特色として、冬に湿った北西の季節風の影響を受けるため、太平洋側に位置し冬に乾燥する東京とは対照的に、12月から2月にかけての降水量（降雪量）が多くなるのが大きな特徴です。
問7	答え 4 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問8	答え 2 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 2 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問10	答え 2 ニセコモデル	急激な観光需要の増加に対し、行政と民間事業者が協力して、バス路線の拡充や多言語対応、決済システムの導入などを進める仕組みを指します。インフラ整備やサービス向上を一体となって進めることで、観光客の満足度を高め、地域経済を活性化させる手法として全国から注目されています。
問11	答え 3 大型機械を活用した大規模な経営	北海道は明治時代以降の開拓の歴史もあり、他都府県に比べて一戸あたりの耕地面積が格段に広く確保されています。この広大な農地を少人数で効率よく管理するために、大型のトラクターやコンバインなどを導入した機械化が進み、大規模な農業経営が行われるようになりました。これは、土地が狭く労働力を多く投入する「集約的」な農業とは対照的な特徴です。
問12	答え 2 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。